

蔵出しお宝ニュース

— 第 28 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。
本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを
随時行って参ります。

第2回 蔵出しお宝展 開催

11月3日（日・文化の日）に第10回三原浮城まつりが開催されますが、その協賛行事として10月30日（水）から11月3日（日）の5日間（10：00～18：00、3日は16：00まで）「第2回 蔵出しお宝展」を三原駅前のペアシティ三原西館2階の市民ギャラリー・ギャラリー1にて開催いたします。

今回は三原西町・東町絵図（市重文）、佛通寺歴代管長墨跡、三原物（刀剣）など約60点の資料を展示する予定です。中でもスポットをあてたい資料は三原で活躍した漆工芸家の高中惣六・隆司父子の作品です。高中惣六の略歴については19号で紹介させていただきました。惣六の跡を継いだのが次男の隆司（本名は隆二ですが、漆工芸家としては隆司と名乗る）です。同じ漆工芸でも、木地に漆を塗る作品を中心に製作していた惣六に対し、隆司は乾漆（麻布を漆で固める技法）の作品製作に心血をそそぎました。棗や飯器などの蓋物で、木地に漆を塗ったものは気候などが変わると、木地が悪い場合には“ひわり”がきて、蓋の開け閉めが難しくなることがあります。それを防ぐために隆司は乾漆にこだわったようです。

昨年末に隆司も残念ながら物故作家となりました。奇を衒わず、一本筋の通った作品を三原で作り続けた高中父子を、作品を通じて偲びたいと思います。

（左）“蔵出し”される三原ゆかりの資料。

桐箱の中は会場でのお楽しみです。



資料館パンフレット リニューアル



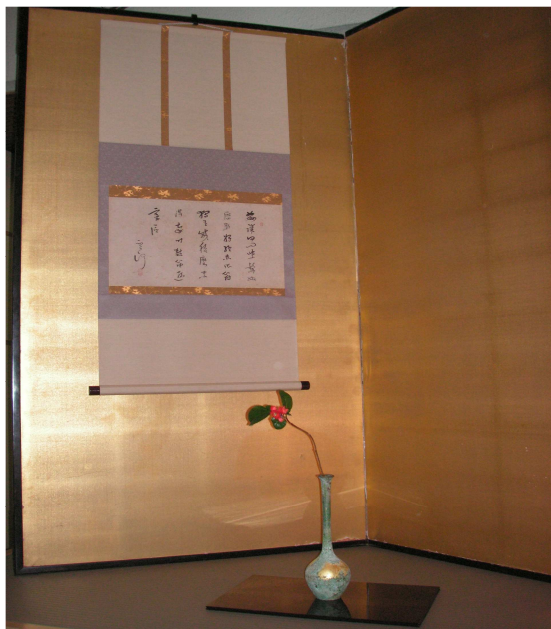
(上) リニューアルしたパンフレット

当資料館を紹介するパンフレットを新たに製作しました。先般まで配布していたものが、昨年からの資料館整理に伴い、情報が古くなってきたためです。大きさはA4の2つ折りで、常設している原始古代資料・中世資料・三原城関係資料・近世資料・近代資料・のぞきからくりについての簡単な説明を加えています。

取り急ぎ、モノクロ印刷で製作しましたが、将来的にはカラーで印刷したものをご用意したいと考えています。

資料館1階ロビーのほかに、(一社)三原観光協会や道の駅みはら神明の里などにも置かせていただいておりますので、ご来館いただく際のご参考にお使いください。

おき どこ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 菅 茶山 筆

七言絶句

菅茶山〔延享5(1748)年～文政10(1827)年〕
は福山市神辺町ゆかりの儒学者です。

花入 唐銅鶴首

花 季のもの

祝 世界文化遺産登録

名峰富士日本画展

日時：平成25年10月16日(水)～

11月22日(金)

9:30～19:00(土日は18:15まで)

場所：中央図書館2階 展示ケース

富士山は、本年6月22日、関連する文化財群とともに「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の名で世界文化遺産に登録されました。それを記念したミニ展示です。どうぞご鑑賞ください。

発行 平成25(2013)年 10月30日

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。